

中学部の紹介

中学部の重点

1. 学ぶ楽しさを知り、主体的に取り組んだり、最後まで活動したりできる力を育てる。
2. 基本的な生活習慣を確立するとともに、健康で安全な生活ができる力を育てる。
3. 学級や学校の様々な教育活動内で意見を言ったり、協力し合ったりする中で、周りの人と関わる力を育てる。

生徒の在籍状況（平成31年4月現在）

学年	知的障がい	重複障がい	病弱	合計
1年	9	4	1	14
2年	13	4	1	18
3年	18	4	0	22
合計	40	12	2	54

学習の状況



知的障がい、重度重複障がいの生徒を対象とした教育課程では、教科（国語、数学、音楽、美術、保健体育）、領域・教科を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、作業学習）、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間があります。

肢体不自由・病弱の生徒を対象とした教育課程では、中学校に準ずる教育課程で学習しています。

（昨年度の活動の写真）

■知的障がい・重複障がい学級の教育課程について 領域・教科を合わせた指導

授業では、クラス単位、学部全体、学年を越えてのグループ別等、個々の課題によって多様な学習形態で取り組んでいます。

	<p>【日常生活の指導】</p> <p>将来の自立に向けて、日常生活における課題を解決するために、繰り返し学習をします。</p>
	<p>【生活単元学習】</p> <p>生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、体験を通して学習をします。</p>



【作業学習】

製品を作ること、作物を育てることに喜びを感じて進んで作業に取り組む姿勢を育みます。

【教科指導】

個々の実態に合わせて、学習状況や経験等を十分考慮しながら授業を行います。生活に即した活動を十分に取り入れつつ段階的に学習をします。



国語



数学



音楽



美術



保健体育

■肢体不自由・病弱学級の教育課程について

授業では、中学校に準ずる学習をしています。年3回の学力検査や定期的な中間・期末考査を行い、学習の達成・定着度を図っています。一人一人が、自分の将来の姿や実現したい夢に向かって取り組んでいます。



教科指導



総合的な学習の時間
(他校とのTV会議システムを使用した交流学习)



特別活動

■特別活動

部集会では、レクリエーションや学習成果の発表を通して、学部内の交流を深める活動をしています。

		
委員会	部集会	生徒会選挙

■自立活動

コミュニケーションや、身体の動き等の個別課題に取り組みます。

		
--	--	---

■総合的な学習の時間

職場見学や、職業体験の進路学習、校種間交流、国際交流、防災教育等の学習をします。

【進路学習】

◎職場施設見学

学校近隣の企業や、施設へ行き、仕事の内容や、働く人の様子を見学します。(各学年1回)

	
わたげ	若尾製菓
	
ふれあいの里 可児	きらら美濃加茂

◎職業体験

1・2年生は、学校内の教室を工場に見立てて、外部から委託された仕事に取り組みます。実際の仕事に近い状態で行うことで、生徒たちの仕事に対する意識の向上を図ります。

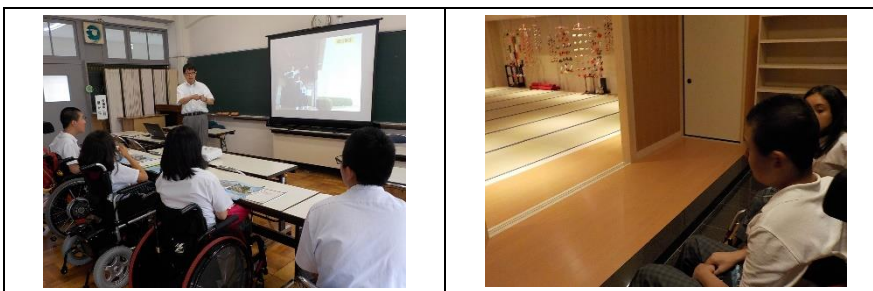


3年生は、校外の施設に行き、施設の方の指示を受け仕事の体験をします。実際の仕事を行うことで、卒業後の自分の姿や仕事に対する意識の向上を図ります。

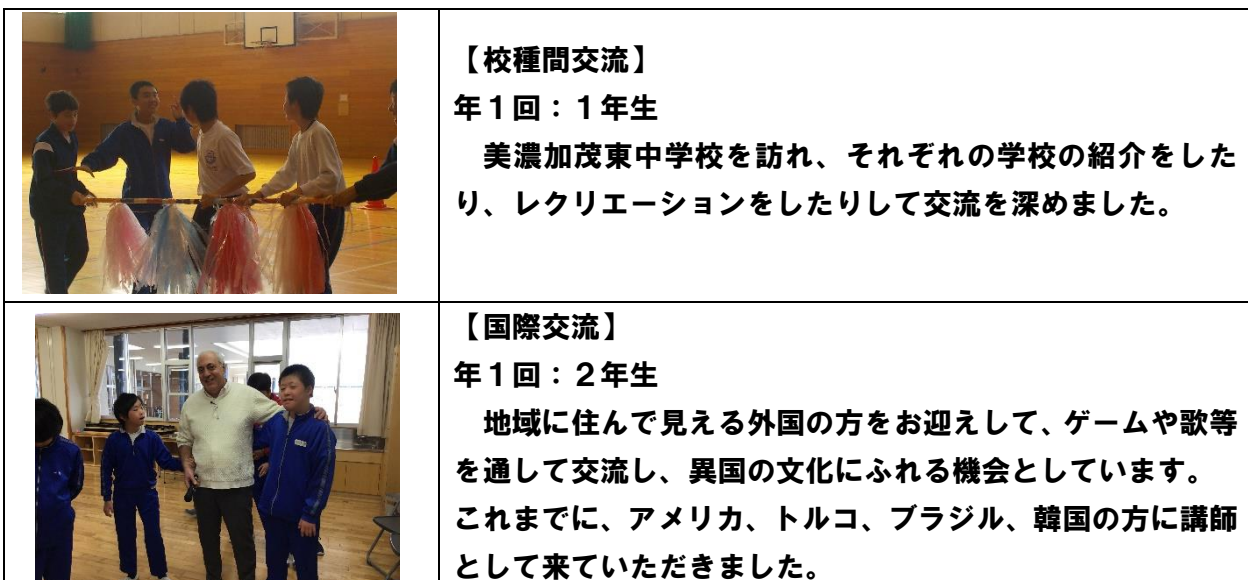


◎高校見学（肢体不自由・病弱学級）

キャンパス内を見学し、職員の方から、校内の施設、学習内容、就職までの取り組み等の話を聞きました。



【交流】



行事

■全体 遠足■

行き先：みのかも健康の森

学年やグループで山登りや散策をして交流を深めました。



■3年生 修学旅行■

(2泊3日)

行き先：東京方面

ディズニーランド
カントリー

TDLでは自分達で計画した日程でのグループ活動を仲間と協力して楽しみました。



■宿泊学習 2年生■

(1泊2日)

行き先：岐阜市

関ボウルでボーリング体験をしたり、科学館でグループ活動をしたりしました。ホテルでは食事や就寝準備を協力して行いました。



■校外学習 2年生■

行き先：広域防災センター

災害時に自分の命を守るためにとる行動について学校で学んだことを、実際に消火器や、起震車の体験をして深めました。



■校外学習 1年生■

行き先：リトルワールド

日本や海外の食事や文化に、実際に触れて楽しんだり、興味を深めたりしました。

